

4 オンラインワークショップ（令和2（2020）年度行政評価市民フォーラム）の開催結果について

(1) オンラインワークショップ（令和2（2020）年度行政評価市民フォーラム）の概要

1 背景・実施目的

(1) 背景

本市では、平成16（2004）年に策定した多摩市自治基本条例第26条（評価への参画）に基づき、平成17（2005）年度から市民による評価として市民アンケート等を実施してきました。その後、平成22、23（2010、2011）年度には、市長が選挙時に公約に掲げた「多摩市版事業仕分け」の実現のため、公開の会議形式で行う「行政評価市民委員会」を開催し、毎年12の事務事業を対象とした、いわゆる事業仕分けを実施してきました。

平成24（2012）年度からは、より多くの市民の皆様に参加いただきながら、市民同士の議論のもと評価が行えるよう、参加者を無作為抽出で選ばれた市民の方に変更した形の「行政評価市民フォーラム」を開催しています。

令和2（2020）年度は、コロナ禍における行政の新しい取組として「Web会議システム」を活用したワークショップを行い、新型コロナウイルス感染症の影響による生活の変化や、どんなまちであればずっと住み続けたいか、どんな形であれば自分の住む地域に関わっていけるかなど、多摩市の将来について、市民同士での議論を行いました。また、今回は市外への転出が多い世代であり、普段市政に携わる機会が少ない方々の意見を反映していくため、令和2（2020）年度に23歳を迎える市民の方を主な対象としています。

(2) 実施目的

参加した市民同士での対話を通じて市民目線で今後の市の取組に対する意見やアイデアを頂戴し、今後の市政に活かすことを目的とします。

また、参加した市民が行政の取組を理解するとともに、本ワークショップへの参加を通して、今後自ら行政や地域に関わっていききたいと思うきっかけとなるよう目指します。

2 開催概要

開催日時	令和2（2020）年11月13日（金） 午後7時30分～午後10時00分
参加者	市民11名（うち令和2（2020）年度23歳を迎える市民5人、若者会議4人、大学生2人、）市職員4名
内容	第1部 趣旨説明、市の取組の進捗状況・現状について 第2部 ワークショップ 第3部 全体の振り返り

3 当日のスケジュール

時間	プログラム
19:30	開会、市長あいさつ
19:35	第1部『趣旨説明・市の取組の進捗状況・現状について』
19:50	第2部『ワークショップ』
19:50	ルール説明等（ワークショップの進め方、Web会議システムの説明）
19:55	ラウンド1 『新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活の中でどんな変化があったか』
20:10	ラウンド1の各グループの発表
20:15	休憩
20:20	ラウンド2 『どんなまちにすればずっと住み続けたいか』
20:40	ラウンド2の各グループの発表
20:55	ラウンド3 『どんな形なら自分の住む地域に関わっていけるか』
21:15	ラウンド3の各グループの発表
21:30	第3部『全体の振り返り』
21:50	事務連絡
22:00	閉会

4 ワークショップの流れ

参加者には、当日の議論を深めるために参考として、若者世代に関係する部分の重点課題解決に向けた視点の取組状況と、多摩市の公共施設の位置を分類別に可視化した多摩市公共施設のデータマップを事前に送付しました。

当日は、コロナ禍における行政の新しい取組として、Web会議システムを活用したワークショップを開催しました。第1部では、事務局は配信拠点（合同会社 MichiLab）から本日の趣旨説明と、多摩市の取組の進捗状況や多摩市の現状について説明を行い、それをオンライン上で参加者は視聴し、市政への理解を深めました。そして第2部では、同じく配信拠点にいるファシリテーターを中心に、それぞれのラウンドで指定されたテーマに沿ってグループディスカッションを行いました。参加者は3人もしくは4人1組でオンライン上のグループに分かれ、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、それぞれの現状や地域に対して感じるこの意見交換を行い、その後、全体で各グループで出た意見を共有し、振り返りました。

第1部『趣旨説明、市の取組の進捗』状況・現状について』

Web会議システム上に出席者が集まり、配信拠点より市長からの開会のあいさつを行いました。



参加者の画面から見た様子



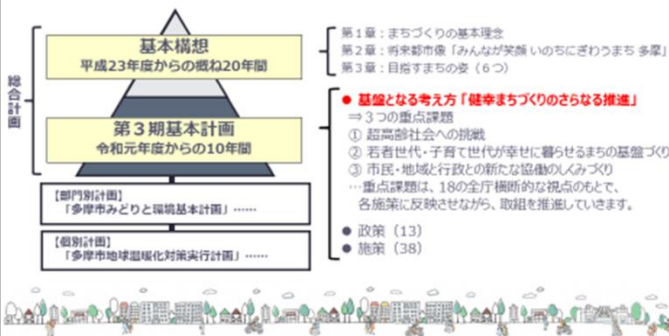
配信会場の様子

総合計画と行政評価についてや、現在の多摩市の取組状況について説明を聞いて、理解を深めました。

1 総合計画と行政評価について

(1) 総合計画とは

- 市民と行政の共通の目標として、まちづくりを進める上で根幹となる計画であり、様々な計画の中で最上位に位置づけられる計画です。
- 令和元年6月に、**第五次多摩市総合計画 第3期基本計画**がスタートしました。



2 現在の多摩市の取組状況について

(1) 新型コロナウイルスに対する市の取組について

① 多摩市PCR検査センターの設置

多摩市医師会と協力連携して、かかりつけ医が必要と判断した際にPCR検査を受けることができる多摩市PCR検査センターを設置しました。



② 「多摩市飲食店応援チケット#たまめしめし」販売支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、売りに影響を受けている市内飲食店の経営支援のために、市内飲食店のうち参加店舗を対象に、購入額に10%の上乗せの特典を付けた「多摩市飲食店応援チケット」を販売しました。



第2部『ワークショップ』

ファシリテーターよりWeb会議システム上でのワークショップの進め方、Web会議システムの使い方などのルール説明を行いました。

「ワールドカフェ」

1995年に提唱された話し合いの手法。「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」

常に休憩時間



飲食など自由に「対話を楽しむ」

自由の担保



話し手でも聞き手でも良い
落書きするも良い

席替え



声の大きな人がいて対話できなくても
部屋替えが準備されている

唯一のルール：否定しない

自分と異なる意見の人がいても、否定しない。
発言することの自由を担保することで、対話を促進する。



ルール説明後、参加者は Web 会議システム上で 3 人から 4 人のグループに分かれて、それぞれのラウンドで指定されたテーマについて、参加者同士で対話しながら、それぞれの目線で今後の市の取組に対する意見を交えました。

どんなまちならずっと住み続けたいかなあ



隣の人がわかるようなコミュニティがいいね

満員電車の通勤は大変なので、住むところと職場は近いまちがいいな



どんな形なら自分の地域にかかわっていただけるかなあ・・・

もっと若い人に情報が届かないと、地域に関わって行けないと思う



ご近所同士のちょっとした挨拶が地域と関わることになると思う。

(行政評価市民フォーラムのような)市の会議に参加することもワークショップに関わることになるかな？



第3部『全体の振り返り』

各テーマ後には、各グループどんな意見が出たかを、グループの代表 1 人が発表を行い、全体意見の共有を行いました。各グループで出た内容は、ファシリテーターが配信会場の黒板にまとめていき、3 テーマ終了時には、当日の意見やアイデアが 1 つの黒板にまとめられました。



(2) アンケート結果

○アンケート回答者数 8 名（母数：市民参加 11 名）

あなたが「行政評価市民フォーラム」に参加しようと思った理由について教えてください（複数回答可）

内容に興味があったから	5
参加依頼の通知が来たから	5
市政に参加貢献したかったから	4
自分のやりたいことが実現できそうだったから	1
自らの仕事・研究分野の参考とするため	2
コーディネーターの実施するワークショップに興味があったから	1
その他	1

その他の意見：自分の発言が直接こういった形で届くことはほとんどなかったため

本日の「行政評価市民フォーラム」に参加して良かったと思いますか。

よかった	75%
まあまあよかった	25%
あまりよくなかった	0%
よくなかった	0%

本日の「行政評価市民フォーラム」のオンラインでの開催は、良かったと思いますか。

よかった	87.5%
まあまあよかった	12.5%
あまりよくなかった	0%
よくなかった	0%

「行政評価市民フォーラム」に参加したことがきっかけで、市の他の市民委員会や、若者会議のワークショップ等に参加してみたいと思いましたか。

とても思った	37.5%
ある程度思った	62.5%
どちらともいえない	0%
あまり思わなかった	0%
その他	0%

「行政評価市民フォーラム」の運営・内容についてのご意見・ご感想、また改善すべきと考えられる点等について、その他、何かお気づきの点がありましたら、自由にご記述ください。

- ワールドカフェの運営がとてもスムーズで良かったなと思いました。オンラインだと空気感が伝わりにくいため、休憩に入る前にご自由にお話いただいても大丈夫ですなどのアナウンスが欲しいなと感じました。また、市役所の方が説明をしてくださった際、目線がカメラの関係か下を向いているような印象を持ちました。
- オンライン開催の場合、1グループの人数は少人数であった方が良いとは思いますが、4人というのは少なすぎたように感じた。また、ファシリテーターがどなたかで各ラウンドの雰囲気異なり、その方の力量で議論の活性度合いがある程度決まるように思った。グループ数は減らし、ファシリテーターがより得意な方のみがその役目を務められるようにすれば良いと感じた。
- 正直もっと早くこの活動を知りたかったです！若者と市が協力しているんなことを形にして知っているのを知れてとても魅力を感じました。
- 仕事を考慮しての時間設定というのもありますが、終了時間がもう少し早めになると参加しやすいと思います。グループセッションのメンバーが毎回変わったので、同じ多摩市在住でも様々な境遇で暮らしている人のお話をきけたのでとても面白かったです。ただ通信状況向上のために発信者以外はミュートにすると、グループセッション時にどうしても沈黙ができてしまいました。グループでの会話の際はミュート解除してもいいかもしれません。
- 事前資料の郵送は大変ありがたいが、メールにPDF添付の配布もしていただけるとより嬉しい。
- オンラインなので参加しやすいと感じました。気軽に話せてよかったと思います。
- オンラインで行うことによって、物理的に多摩市に行くのが難しい私でも参加することが出来たので良かったです。聖蹟のタワマンの話は初めて聞きました。このような繋がりをキープすることの大事さを感じました。

「行政評価市民フォーラム」を経験して、今後のまちづくりに向けて市民として取り組んでみたいと思うことがあれば自由にご記述ください。

- 若者会議でも、もっと広報の仕方について考えて実践していきたいなと思いました。
- 市政や地域の活動に目を向けるきっかけとなったので、参加できるものがあれば参加しようと思う。
- 多摩市内のもの限定を撮るフォトコンテストなどがあると市外の写真好きな方などが直接足を運んで多摩市を知るきっかけにもなるかなと思いました。
- 情報を得ることから始めようと思います。可能であれば電子掲示板やSNSを使って情報発信をしていただければより多くの方が多摩市について興味をもちやすくなると思います。
- 多世代間の交流の一環として、若い世代と高齢世代、中間世代それぞれの意見を交換できる場を作る（市の政策についてを土台として様々なことを意見交換）。
- 今回の取り組みを地元に住んでいる同級生に周知してみようと思います
- オンラインのイベントはこのまま継続していただきたいです。
- 情報発信、自らインフルエンサーになり魅力を発信していきたい